

VIEW

終了点呼が時間内に間に合わず超勤に！

点呼の時間管理をしっかりと願います！！

4月4日の終了点呼が時間内に間に合わず超勤扱いになりました。昨年も何回か同じようなことがありましたが、管理者のみなさん時間管理には是非気をつけて下さい。

交番検査の1日の作業は、8時55分の始業チャイムで始まり17時10分の終了チャイムで終わります。大阪交番検査の終了点呼は、管理者が終了チャイムの1分～2分前に「終了点呼を行います」と号令をかけて始まり、管理者からの「伝達事項」と社員による「出勤遅延防止3原則の唱和」(1日毎)を行い、最後に管理者の「チャイムをもって終了とします」で終了チャイムが鳴るのを待ちます。当然、唱和の有無や伝達事項の数によって開始時間が違ってきます。

4日の終了点呼は、終了チャイムの1分30秒くらい前に始まりましたが伝達事項に時間がとられ、出勤遅延防止3原則の途中で終了チャイムが鳴りました。当然、終了時間になったので社員が帰ろうとしたところ管理者が「超勤扱いにします」と社員を引き留めて出勤遅延防止3原則の唱和を終わらせました。本来なら点呼の内容にあわせてもう少し早めに始めれば何も問題はありませぬ。管理者が終了点呼開始時間を間違えたのが原因です。

その時の管理者とのやり取りです。(唱和中に終了チャイムがなったので)

社 員：お疲れ様でした。帰りま～す。

管理者：待って下さい。点呼はまだ終わっていません。

社 員：チャイムは鳴りました。

社 員：勤務時間は終了しました。

社 員：帰りま～す。

管理者：だめです！

社 員：何故ですか

社 員：超勤にするんですか

管理者：超勤にします。

社 員：時間管理には気をつけて下さい。よろしく願います。

(その後、唱和の続きを行いました)

管理者のみなさん！

時間管理をしっかりと行い再発防止に気をつけて下さい！！